

2022 年度 豊橋技術科学大学同窓会 第 1 回役員会 議事録案

日時：2022 年 6 月 10 日（水）18:00-（オンライン会議）

議事録：山根(2 系)

役員出席者（順不同，敬称略）：

若林会長，若原（理事・副学長），戸高（1 系），安部（1 系），秋月（1 系），
稲田（2 系），河野（2 系），山根（2 系），川島（2 系），
中村（情報メディア基盤センター），田村（3 系），栗田（4 系），松本（5 系），
松尾（5 系），Tan（総合教育院），中尾（学外）

【配布資料】

資料番号 R04-TY01-01	豊橋技術科学大学同窓会	2022 年度役員一覧
資料番号 R04-TY01-02	HP・ML・名簿システム	2021 年度活動報告および 2022 年度活動計画
資料番号 R04-TY01-03	会報	2021 年度活動報告および 2022 年度活動計画
資料番号 R04-TY01-04	援助活動	2021 年度活動報告および 2022 年度活動 計画
資料番号 R04-TY01-05	豊橋技術科学大学同窓会	2021 年度事業報告
資料番号 R04-TY01-06	豊橋技術科学大学同窓会	2022 年度事業計画案
資料番号 R04-TY01-07	豊橋技術科学大学同窓会	2021 年度決算報告
資料番号 R04-TY01-08	豊橋技術科学大学同窓会	2022 年度予算案

【議題】

1. 本年度役員の確認および役割分担について（2 系）

○割愛：2 系後藤先生，宮路先生（異動のため）

確認

3 系広中先生を追加するが提案された。後日田村先生から、ご本人に確認する。

○所属変更：高嶋顧問（⇒高専機構），若原先生（本学執行部），2 系河野先生，5 系松本先生（⇒EIIRIS）

稲田先生から確認された。名簿の修了年が間違っている点を修正する旨確認された。

2. 2021 年度活動報告および 2022 年度活動計画

○HP・ML・名簿システム（1 系）

秋月先生から資料をもとに報告された。加藤先生、宮路先生、後藤先生をメーリングリストから削除する旨確認された。

現在は、修了生のほぼすべてが同窓会に登録している旨確認された。

○援助活動（4系）

栗田先生から資料を基に報告された。

課外活動支援 50 万円は適正か→審査をしている限り妥当との旨確認された

大学院生に限定して会長賞を与えているのは？

→大学院に行く人を応援したいため、賞をもらったことなどが履歴書に記載できるため、就職する学生は収入が発生するため

商品券以外の選択肢も検討してみてもどうかという提案があった

バーチャルスペースツールなどを使って開催された同窓会イベントの場合にも支援をする旨をメールで通知することが確認された

○会報（3系）

中村先生から資料を基に報告された。

○事業報告および計画（2系）

稲田先生から資料を基に報告された。

留学生の渡航費支援（500 万円）の内訳が確認された。残額は現在 2,668,050 円。

留学生の渡航費支援の残額の用途については、緊急学生経済支援に充ててほしい、ということと同窓会側の意見としてまとめた。本年度中に行う学長・執行部メンバーとの懇談会で提案することにした。

留学生の渡航費支援については本人がうけとっているかどうか確認をとることになった。

計画

稲田先生から資料をもとに報告された。

4. 2021 年度決算報告および 2022 年度予算（5系）

松本先生から資料をもとに報告された。

- ・決算に関する質問は特になし。

予算について、以下の内容を踏まえて予算がくまれた

- ・コロナの影響にかかわらず、経済的困窮学生の支援をしてはどうか。対象をコロナに限定せず審査を行う。

- ・実務訓練で受け入れ側からの支援のない学生に支援は可能か。→大学がサポートすべき案件、経済的困窮学生であれば、上記の支援を受けてもらう。

- ・会費未納学生について

覚書を確認して、名簿を入手して督促しても問題ない状況かを確認する。NGな場合は懇談会の時に名簿とメールアドレスを同窓会が把握して、支払いの督促をしてよいかどうかを確認（本年度中に学長・執行部メンバーと行う懇談会で打診）→ 在学生のうち、同窓会費未納の学生に督促を送る準備を進める（松本先生と秋月先生から村井さんに依頼）。

- ・繰越金は困窮学生に対する支援経費に充てる

- ・困窮学生の支援経費と併せて予備費を計上する。

- ・毎年、予算計上の際、周年支援経費として積み立てする。

（予算管理エクセルファイルに、繰越金が出た場合は上限 100 万として周年事業に充てる旨の但し書きが追加された）

5. 総会に向けた準備

日時：2022 年 8 月 20 日（土）16 時よりオンライン開催

- ・候補日を決めて別途アナウンスする

6. その他

○新型コロナ関係特別経済支援について（実施するかどうか）

- ・実施する。対象は新型コロナ関係に限定せず、大学が行っている経済支援で対応が難しい学生を支援する方針とする。本件は、本年度中に学長・執行部メンバーと行う懇談会で伝える。

○各地区同窓会の連携の活発化方策に関して

- ・分科会を立てて検討する（各系 1 名程度）

○役員会の時給は年度末にまとめて口座振り込みを行う。（松本先生）